



25 スノーチューブすべり

青森県立種差少年自然の家

○活動の概要○

雪上のコースを、スノーチューブに乗ってすべり降ります。

1 ねらい

雪を利用してスノーチューブすべりをすることで、冬の遊びの楽しさを感じさせます。
(小学校 体育科)

2 場所・人数・期間・時間

- ① 場所・人数 自然の家スノーチューブすべり場 50人程度
- ② 期間 冬季(積雪がある時)
- ③ 時間 1時間～3時間

3 職員の支援について

物品貸出し時に職員がやり方の説明を行い、安全確保のため、必ず活動支援に入ります。

4 準備物

区分	準備物	備考
団体	特になし	
個人	・冬の野外活動に適した服装 (防寒具、手袋、帽子、長靴)	・着替え、汗拭きタオルを用意しておくと便利です。
自然の家	・スノーチューブ ・雪かき用具	・大8本、小6本

5 引率者の役割分担

係名	役割
代表責任者	・全体の掌握、職員との連絡調整にあたる。
安全管理係	・すべる場面での安全確保。(スタート・中間地点・ゴールの3人以上)
救護係	・緊急時の救護にあたる。

6 活動の流れ

- ① 防寒着を着て集合
- ② スノーチューブ等の運搬・移動(玄関から)
- ③ 活動場所の整備
- ④ 安全な乗り方等の説明(代表責任者)
- ⑤ 活動
- ⑥ まとめ・片づけ(スノーチューブを玄関に返す)

7 その他

- ・安全上、手袋・帽子(フードのみは不可)を着用させてください。
- ・スタートとゴールには必ず指導者がついて安全確認を行ってください。
- ・3～4歳児がすべる場合は、安全確保のため出来るだけ大人と一緒にすべってください。

《資料》スノーチューブの乗り方等について

〔参加者〕

- 手袋と帽子は必ず着用してください。
- コース内には入らないようにしてください。
- 非常に危険ですので、壁を崩したり、壁にのったりしないようにしてください。
- 順番待ちをする場合は、ゴール近くの安全な場所で待っててください。
- スノーチューブはひきずらず、持ち上げてはこんでください（傷ついたり、パンクしたりします）。
- 乗り方は下の図の乗り方を守って乗ってください。
- スタートは、前の参加者が完全にすべり終えたことを確認してから始めてください。
- すべり終わったら、すぐにコース内から出て、次の人にチューブを渡してください。

〔指導者〕

- 指導者は安全確保のため、スタート・中間地点・ゴールには必ずつくようにしてください。人数に余裕がある場合は、カーブや危険と思われる所に立ち、安全確認をしてください。
- スタートは、前の参加者が完全にすべり終えたことを確認してから始めるように、十分に注意してください。
- ゴールしたらすぐにコース外へ出るように参加者に指示をしてください。
- 参加者がコースから飛び出しそうな場合は活動を止めて、コースの整備を行ってください。（※減速のため雪をまく、壁に雪を盛って高くする、スタート地点を下げるなど）。

